



学校だより

第260号(令和7年度 第7号)

令和7年11月4日(火)

東京都立葛飾ろう学校

校長 姫野 滋子

副校長から

今を超えて 新しい「ジブン」へ

島田 静香

やっと秋らしさを感じはじめ、朝夕の冷え込みに冬の気配を感じる季節となりました。木々が色づき、校庭にも落ち葉が舞う中、幼児・児童・生徒たちは日々の学びに励んでいます。

さて、今年のノーベル賞では、日本人研究者が世界に誇る成果を挙げ、私たちに大きな感動と誇りを与えてくれました。「制御性T細胞の発見」により生理学・医学賞を受賞された大阪大学の坂口志文先生は、「自分が興味のあることを大切にしてほしい」と好奇心を原動力にして挑戦を続けることの大切さを語られました。また、「金属有機構造体(MOF)の開発」により化学賞を受賞された京都大学の北川進先生は、「研究は一人ではできない。仲間と共に歩んできた道のりがあったからこそ」と、協働の大切さを語られました。いずれも長年にわたる探究と挑戦の積み重ねによって生まれた成果であり、受賞者の言葉は、「今を超えて 新しいジブンへ」という先日開催された葛飾祭のテーマとの重なりを感じました。



葛飾祭では、幼児・児童・生徒たちがこのテーマの下、これまでの自分を見つめ直し、新たな挑戦に取り組む姿が数多く見られました。展示や発表など、どの企画にも創意工夫と情熱があふれており、来場された皆様から多くの温かい御感想をいただきました。葛飾祭を通して、自分の可能性を広げ、未来への一步を踏み出す貴重な経験を得ることができました。保護者の皆様、地域の皆様には、御来場と御支援を賜り、心より感謝申し上げます。

また一つ大きな行事を終え、次なる挑戦へと踏み出していく子供たちの姿を、教職員一同、これからも温かく見守り、支えてまいります。引き続き本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願ひいたします。



各学部から

幼稚部

「ちがっていても、それもいいね！」

信田 房代

今年の葛飾祭は10人で「ヘンゼルとグレーテル」のお話に挑戦しました。お菓子の家や森の場面など、子供たちはワクワクしながら練習を頑張りました。練習が始まった頃は、台詞を覚えるのが少し難しかったり、人前で話すのがドキドキしたりする子もいました。でも、少しずつ大きな声が出るようになったり、手話を大きく表現したりできるようになりました。友達と一緒に動く楽しさを感じながら、どの子も自分なりの表現を見つけていきました。「台詞を言うのが得意な子」もいれば、「動きでお話を盛り上げる子」「みんなをそっと助けてくれる子」もいます。一人一人の個性は違うけれど、その違いが今年の劇をステキにしてくれました。みんなが同じでなくても大丈夫。「ちがっていても、それもいいね！」子供たち10人のよさを大切にしながら、力を合わせ、とてもステキな劇になっていきました。

葛飾祭当日は、子供たちの笑顔と頑張る気持ちがいっぱいの舞台を、観客のみなさんに楽しんでいただきました。



小学部

完全燃焼葛飾祭！

笠見 采可

小学部は、舞台発表と図工・家庭科の作品展示を行いました。ここでは、舞台発表について報告します。

低学年は、「ピーターパン」を演じました。一人一人がセリフと動きを覚え、台詞のやりとりやダンスを楽しみながら取り組みました。手話を使う際の表情にも気を付けて、見事に演じることができました。

高学年は、「グスコーブドリの伝記」という劇に挑戦しました。宮沢賢治原作の作品で、「お客様を感動させる劇」を目指して練習を重ねてきました。6年生を中心に自主的に練習に取り組んだり、お互い協力したりしながら精度を高め、本番は、素晴らしい劇発表をすることができました。

音楽発表では、5・6年生が「ぶちあわせ太鼓」を披露しました。だんだん速くなるリズムに、全員が気持ちを一つにして力強い演奏を発表することができました。



中学部

「喜怒哀楽（インサイドヘッド）」

白井 柚美

今年の葛飾祭では、ディズニー映画『インサイドヘッド』を題材にした劇を上演しました。38人全員がそれぞれの個性を生かし、観る人に面白いと思ってもらえる劇を目指しました。準備段階では、有志で集まった実行委員会を中心に、劇の構成や配役決め、ダンスや表現の創作など、ほとんどを生徒たち自身の手で進めました。たくさんの意見が飛び交い、より良い舞台を目指して試行錯誤する姿が印象的でした。一人一人が自分の役割に責任をもち、仲間と協力しながら一つの作品を作り上げた経験は、生徒たちにとって大きな自信と成長につながったと思います。



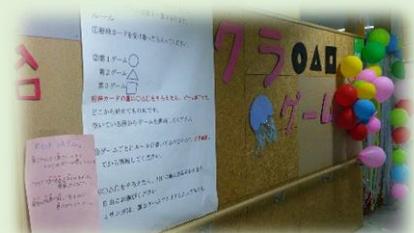
高等部

お客様に楽しんでもらえる企画を目指して

川添 悠

1年生は宝探しゲームの「クラゲーム」、2年生はホラー映画の「リアル vs フイクション」、3年生はお化け屋敷の「行方不明」、専攻科生はハヤシライスやお菓子販売の「葛ロンの隠れ家」、社会・就労自立支援コースはカフェと製品販売の「K's カフェ&スマイル工房」を企画、運営しました。

高等部には、クラスの企画とは別に、所属する系や委員会の仕事を兼務している生徒が多いため、シフトや他の団体との調整に奮闘する姿も見られました。各団体が、限られた物や時間の中で話し合いを重ね、お客様に楽しんでもらうための企画を考え見事に成功させることができました。



東京都立葛飾ろう学校 令和7年11月行事予定

日	曜	全体	幼稚部	小学部	中学部	高等部普通科・専攻科
1	土					
2	日	開校記念日 (施設開放日グランド・体育館)				
3	月	文化の日				
4	火	安全指導日 読書週間(始)	安全指導日	A週 安全指導日 読書週間始 (~11/14)	安全指導日 生徒朝会 6h委員会	安全指導日
5	水	SC		3,4年JR出前授業 (3, 4 h) 4~6年委員会		月曜授業 (高等部) 専攻科食物系予備相談
6	木	リオン	13:30下校			
7	金	学校運営連絡協議会(PM)② (施設開放日グランド・体育館)	秋の遠足(小低) 13:30下校	1~3年校外学習(1~4 h) 漢字検定 ブックトーク(小) 5 h	漢字検定 青葉中合同音楽会	全国聴学校卓球大会 (愛知) 漢字検定
8	土					全国聴学校卓球大会 (愛知) 食物系 (国際手話のまち出店)
9	日					全国聴学校卓球大会 (愛知)
10	月	SC	手話学習会	B週		ウェルピア葛飾出張販売
11	火	避難訓練 (地震・津波) 3h	避難訓練 (地震・津波) 3h	避難訓練 (地震・津波) 3h	避難訓練 (地震・津波) 3h	避難訓練 (地震・津波) 3h
12	水	SC		3年社会科見学		AM専攻科集中体育 (テニス) 6h生徒集会 だいせん聴高との交流(F2)
13	木					
14	金	読書週間(終)	秋の遠足予備日 13:30下校	持久走発表前検診 算数・数学検定 読書週間終	算数・数学検定	AM専攻科集中体育 (テニス) 算数・数学検定 家庭技術検定準1級・2級筆記試験
15	土	デフリンピック始 (~26終)				
16	日	(施設開放日グランド・体育館)				
17	月	いじめアンケート始 SC	手話学習会	A週 4~5中学部見学		デフリンピック観戦(柔道)
18	火					社会自立支援コース職場見学
19	水	SC				6h短縮 14:30下校
20	木	健康相談		4~1 中学部見学		
21	金	ブルーム いじめアンケート終		デフリンピック観戦(卓球)・エスコートキッズ(小高)		保護者企業見学会
22	土					
23	日	勤労感謝の日 (施設開放日グランド・体育館)				
24	月	振替休日				
25	火		デフリンピック観戦(空手)11時半 現地解散 手話学習会	B週デフリンピック観戦(空手)(小低/短縮13:30現地解散)	デフリンピック観戦(空手) 短縮13:30現地解散	
26	水	デフリンピック終 SC		3~5年専攻科見学 4~6年クラブ	学力テスト 短縮13:40下校	
27	木	リケン SC	やきいも会 13:30下校		学力テスト 短縮13:40下校	
28	金	SSW⑥	やきいも会予備日	3~5年専攻科見学	学力テスト	家庭技術検定1級筆記試験
29	土	文泉こどもクラブ (調理)				
30	日	(施設開放日グランド・体育館)				
備考		デフリンピック関連行事				

いじめ対策委員会よりお知らせ

今年度のいじめ相談窓口は次のとおりです。いじめにつながりそうな心配が生じたときは御相談ください。保護者と連携して、未然防止に努めます。

幼稚部主任 内田奈緒子、小学部主任 井出真澄、中学部主任 浜口直也、高等部主任 大谷英行、教務部・生活指導部主幹 柏倉克哉